



地域おこし協力隊とは

「都会を離れて地方で生活したい」「地域社会に貢献したい」「人とのつながりを大切に生きていきたい」「自然と共存したい」「自分の手で作物を育ててみたい」…。今、都市に住む人たちがさまざまな理由で豊かな自然環境や歴史、文化などに恵まれた「地方」に注目しています。「地域おこし協力隊」とは、人口減少や高齢化などの進行

が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動に従事してもらうと同時に、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした国（総務省）の制度です。

栗山町地域おこし協力隊

地域を変えていく 新しいちから

人口減少や少子高齢化、担い手不足に悩む地方。生活の質的な豊かさを求め、地方に注目する都市圏の若者たち。町では、地域活性化に取り組む人材確保や任期終了後の定住を目的に、豊かな経験や鋭い感性を持った若者・よそ者の受け入れを積極的に行っています。

facebook

フェイスブックで活動の様子や
まちのPRポイントを発信中！

北海道栗山町地域おこし協力隊 [検索](#)

栗山町地域おこし協力隊

全国的には平成21年度から地域おこし協力隊の活用が開始されましたが、隊員たちの活躍ぶりや、約6割の隊員が任期（1年間から最長3年間）終了後も地域に定住していること、また、国では今後とも継続して地域おこし協力隊を全国に増やしていく方針が示されたことを受け、町では平成27年4月から初めて、地域おこし協力隊の活用を始めた。

初年度となる平成27年度は、農業体験者の受入支援や都市農村交流の促進などを行う農業分野の隊員および、自然体験教育の支援や里山環境

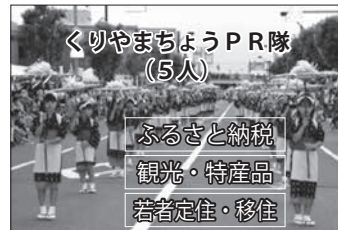
平成28年度栗山町地域おこし協力隊（13人）



自然教育支援員
(3人)



農業支援員
(5人)



くりやまちょうPR隊
(5人)

ふるさと納税
観光・特産品
若者定住・移住

の保全などを行う自然分野の隊員の合計9人が着任。本町に住民票を移し、地域活性化のためさまざまな活動に取り組みました。

2年目となる今年度は人数をさらに増やし、総勢13人の隊員が着任。活動分野は昨年度に続く農業・自然分野に加え、ふるさと納税、観光・特産品、若者定住・移住の3つの担当が一体となった「くりやまちょうPR隊」が加わり、活動の範囲をさらに広げています。

今後も、町広報などで活動状況を報告していきますので、皆さんの応援をよろしくお願いします。

PICK UP

ふるさと納税×観光×若者定住
「くりやまちょうPR隊」

都市圏の住民を主なターゲットに、本町を訪れる交流人口を増やし、まちの知名度向上を目指す「くりやまちょうPR隊」が結成されました。

ふるさと納税、観光・特産品、若者定住・移住の3分野の隊員が密に連携し、積極的にまちをPRします。

今後の取り組みにご注目ください！

ふるさと納税担当
石井 翔馬 埼玉県出身



いしい しょうま
埼玉県川口市出身の石井翔馬です。「野菜」「果物」「加工品」の三本の矢を礎に、肉や魚介類などの一般的に人気の高い返礼品に勝るよう盛り上げていきます。町民になってまだ日が浅いですが、町のヒト・モノ・シゴトなど知りたいと思いますのでよろしくお願いします。

ふるさと納税担当
五十嵐 真衣 東京都出身



いからし まい
地域おこし協力隊と言うと、栗山町のどこに行っても頑張ってるね！と応援してくださって栗山町に来てよかったと思う日々です。優しさで溢れた栗山町をさらに盛り上げるために、町民の皆さまとのつながりを深めていきたいので、よろしくお願いします。

観光・特産品担当
高橋 毅 神奈川県出身



たかはし つよし
高橋毅です。大学進学に伴い北海道へ移り、リクルート北海道じゃらんに就職。平成24年より地元に戻り、WEBメディア制作を行っておりました。これから地域おこし協力隊として栗山町を積極的にPRしてまいります！何とぞ、よろしくお願いします！

若者定住・移住担当
小葉松 真里 帯広市出身



こばまつ まり
十勝帯広市出身。新聞社、まちづくり会社、農場や牧場で働いた後に、栗山町に辿り着きました。普段は若者定住推進室にいます。栗山町でいろいろな経験をし、五感総動員で栗山町を感じ、発信していきたいと思っています。皆さまどうぞよろしくお願いします。

若者定住・移住担当
山口 尚久 神奈川県出身



やまぐち なおひさ
最初、栗山町に来て感じたことは人の良さ。それに栗山町が好き！という方ばかり。栗山町は良いところだよ！栗山町を盛り上げて！という声を聞くと身の引き締まる思いです。まずは、私自身が楽しんで暮らしてみたいと思います。皆さま、よろしくお願いします！